

中学卒業後の進路について

3年生はあと4か月で義務教育9年間の課程を修了します。中学校卒業後の進路について見ていきます。校長室だよりで、例年進路について紹介しています。参考にしてください。

すでに令和7年度の公立高校選抜要項が発表されました。県教育委員会高等学校教育課のホームページで見ることができます。近隣の高等学校で学級減があります。募集要項についての詳細は次回以降にお知らせします。



1 中学校卒業後の進路

その1 高等学校（＝以下、高校）

多くの生徒が高校に進学します。学校教育法（以下：法）には、高校の定義について以下のように示されています。

高等学校は、中学校における教育の基礎の上に、心身の発達及び進路に応じて、高度な普通教育及び専門教育を施すことを目的とする。

中学校における教育の基礎がしっかり身に付いていることと、個々の事情に応じて高度な普通教育及び専門教育を施します。「進路に応じて」とあることから、高校進学前あるいは進学後の早い段階で将来の方向性を決めることが必要であると読み取れます。多くの普通科の高校では、1年生終了時に、文系と理系を選択することが多いようです。

その2 高等専門学校

この地域周辺では「長岡工業高等専門学校」いわゆる「長岡高専」が挙げられます。法では、「高等専門学校は、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とする。」と定められています。修業年限は5年で、長岡高専でいえば、工業に関する専門の知識を身に付け、卒業後はその分野で力を発揮する人材育成をしています。

その3 高等専修学校

高校ではないですが、それぞれの学校が専門分野の授業を設け、学習をし、3年制で所定の条件を満たせば高校卒業と同じ資格が与えられます。法では、「職業若しくは实际生活に必要な能力を育成し、又は教養の向上を図ることを目的として次の各号に該当する組織的な教育を行うもの。」とされています。

その4 テクノスクール（以前は職業訓練校と言いました。）

職業能力開発の中核として、ものづくり分野や雇用の拡大が見込まれる分野等で産業の発展を支える人材を育成するとともに、離職者や若年求職者に対して職業訓練を実施して就職支援を行う学校です。近隣では、魚沼市堀之内に「魚沼テクノスクール」があります。魚沼テクノスクールの「建設施工科」は、義務教育卒業以上が対象となっています。高校卒業及び成人が受験するケースが多く、中学校卒業程度では合格しづらい現状もあります。

その5 就職

義務教育が終了しているので、就職することも可能です。ハローワークの求人や縁故による就職が考えられます。ただし、中学校卒業の求人はほとんどゼロに近い状況が多いことも事実です。就職は、縁故以外の方法ではなかなか厳しいのが現実です。

高校について詳しく見ていくことにしましょう。

公立高校と私立高校

この違いは、学校の設置者が誰かということによります。中条中学校は、正式には「十日町市立中条中学校」で、学校の設置者は「十日町市」です。このように県や市町村が設置している学校を「公立学校」といいます。新潟県の公立高校は「新潟県立高校」と「新潟市立高校」があります。十日町市在住であってもどちらにも出願できます。ただし、他県の公立高校を受験する場合には、別の手続きが必要となります。

一方、学校法人が設立している高校が「私立高校」です。私立学校法では、「学校法人は『私立学校を設置運営する主体です。』」と定められています。近隣でいえば「中越高校」は正式には「学校法人中越学園中越高等学校」であり、「帝京長岡高校」は「学校法人帝京蒼紫学園帝京長岡高等学校」となります。

2つの大きな違いは、授業料等の経費の違いです。公立高校は、1か月の授業料が約1万円程度なのに対して私立高校は約3万円くらいです。今は就学支援制度が充実してきており、条件に見合えば、私立に進学しても公立並みの経費で就学することが可能にはなっています。



全日制、定時制、単位制、通信制

全日制高校は、義務教育と同様に朝登校し、1日6時間程度の授業を行う学校です。修業年限は3年です。

定時制高校は、全日制高校と同じ日程で学校へ通い、1日の授業時間が短い分、4年かけて卒業します。多くの定時制高校で、3年で卒業するコースと4年で卒業するコースのどちらかを選択できるようになっています。3年のコースを選んだ場合は、1日の授業時間が、5～6時間へと増えます。



単位制高校は、自分の進路希望を踏まえて、大学等への進学に対応できる多様な選択科目の中から選択して学習します。単位制高校は学年制でないので、3年間で卒業に必要な単位数74単位を修得すれば卒業となります。

通信制高校は、通信教育で学習する高校のこと。卒業要件を満たせば、全日制高校や定時制高校と同様に高校卒業の資格を得ることができます。全日制や定時制との大きな違いは、「毎日通学する必要がない」「学年制ではなく単位制」「留年がない」という点です。学校によっては、夏季休業などの長期休みに学校に通学するスクーリングを課しています。通信制高校で学ぶ生徒はサポート校を利用していることも多い現状があります。



※**サポート校**：通信制高校に通う生徒が3年間で卒業できるよう、学習面、生活面、精神面でサポートする学校。高校ではないので、サポート校に通っただけでは高校を卒業したことにはなりません。

全日制について

多くの生徒が希望して進学するのは「全日制課程」の高等学校です。全日制高校には「普通科」「商業科」「工業科」「総合学科」など多くの科があります。それぞれの詳細については、3年生は配付された「Compass to your future 未来への羅針盤」をご覧ください。他の方々は新潟県教育庁高等学校教育課のホームページの「入学者選抜関係」→「公立高等学校入学者選抜」の中にも掲載されています。入試制度については次号以降でお知らせします。

